

番号	17	佐賀江川治水碑 佐賀県知事 井本勇		
所在地	佐賀市蓮池町蓮池			
災害別	昭和47年(1972)、55年(1980)、平成2年(1990) 水害			
目的別	記念碑	建立年	平成8年3月	
特記事項				

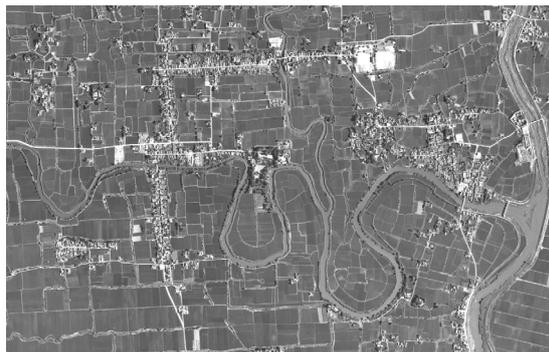


佐賀市蓮池公園の公園西橋の前に建てられた佐賀江川治水碑。かつての蛇行した佐賀江川は河川改修に伴い、ショートカットされ、旧河川の名残が蓮池公園周辺に堀のように残されている。

碑の裏面には、「激甚災害対策特別緊急事業記念 平成八年三月吉日 筑後川並支派川改修工事期成同盟会 佐賀地区排水対策事業促進期成会 佐賀県 佐賀地区河川改修事務所」と記されていると共に、(社)全国建設技術協会より送られた「全建賞」のメダルが埋め込んである。

碑のそばにある佐賀江川治水事業を紹介したパネルには、「佐賀江川は佐賀市街地から東流し、筑後川に流入する河川で、県都佐賀市をはじめ1市6町の排水を受け持つ重要な河川である。当河川の流域は、昭和47年7月、昭和55年8月、平成2年7月と豪雨災害に見舞われ、その都度1万戸にのぼる浸水家屋被害を蒙ってきた。このため、浸水解消の抜本的な対策として、山地からの洪水を調整池、佐賀導水路(直轄)により軽減するとと

もに、排水河川の能力増大のための河川改修、及び下流端に排水機場を設置することとし昭和48年から改修事業に着手した。昭和55年及び平成2年に河川激甚対策特別緊急事業の採択を受け通常の河川とあわせ、事業のより一層の促進を図り、佐賀江川蛇行部のショートカット工事、河道拡幅工事、蒲田津排水機場（直轄）の新設、派川八田江、新川の河道改修と排水機場の設置等の工事を行い、あわせて支川巨勢川、中地江川下流部工事を完成し、平成8年3月、佐賀江川全体として下流域の河川工事を概成した。本事業は建設省及び佐賀県が実施したものである。」と記されている。



現在の佐賀江川（左）と改修前の佐賀江川（右） 国土地理院電子国土 Web



蒲田津水門 蒲田津排水機場

国土地理院電子国土 Web